

令和 3 年 度

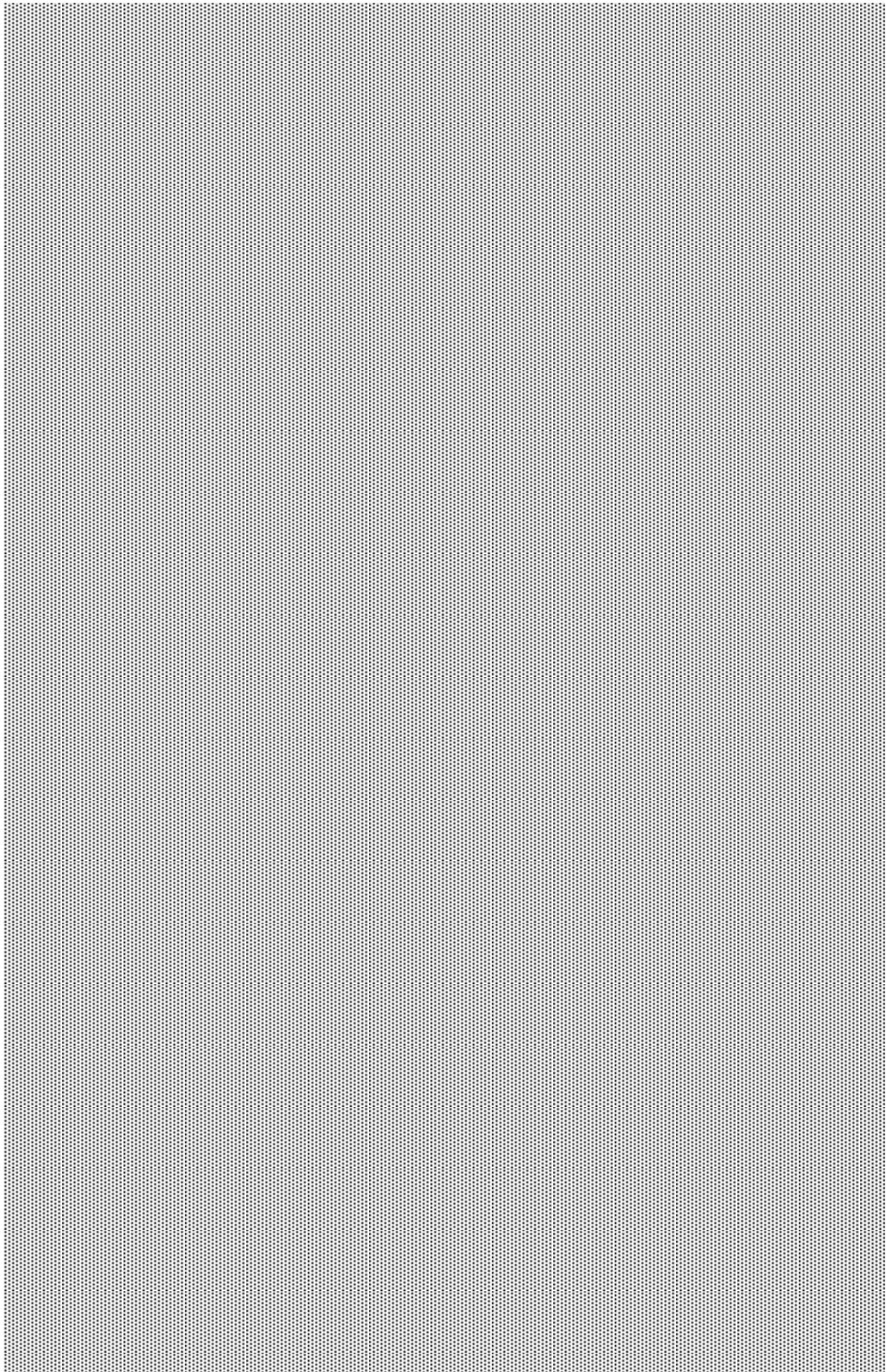
## 埼玉県クリーニング師試験問題

指示があるまで開いてはいけません。

~~~~~

### 注 意 事 項

- 1 解答は、必ず解答用紙に記入してください。
  - 2 解答用紙に受験番号と氏名を必ず記入してください。
  - 3 試験時間は、午前 10 時 20 分から午前 11 時 20 分までの 1 時間です。
  - 4 問題は、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識、洗たく物の処理に関する知識の 3 科目で 30 題あります。
  - 5 解答を修正する場合は、消しゴムでよく消して、明りょうに答案を作成してください。
  - 6 試験時間中に発言してはいけません。用事のあるときは手を挙げてください。
- ~~~~~



## 衛生法規に関する知識

問1 次のクリーニング業法第1条について、( )の中に入る語句の組合せで正しいものを選びなさい。

この法律は、クリーニング業に対して、(ア)等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその経営を(イ)の福祉に適合させるとともに、(ウ)の利益の擁護を図ることを目的とする。

|   | ア    | イ  | ウ   |
|---|------|----|-----|
| 1 | 公衆衛生 | 公共 | 利用者 |
| 2 | 衛生水準 | 公共 | 経営者 |
| 3 | 衛生水準 | 地域 | 利用者 |

問2 次のクリーニング業法第2条について、( )の中に入る語句として正しいものを選びなさい。

この法律で「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を( )洗たくすることを営業することをいう。

- 1 解体して
- 2 原型のまま
- 3 洗張りのように

問3 次のクリーニング業法第3条に規定されている営業者の衛生措置に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておく必要はない。
- 2 営業者は、クリーニング所を清潔に保たなければならないが、洗たく物を運搬する業務用の車両は対象外である。
- 3 伝染性の疾病の病原体による汚染がある洗濯物であっても、洗濯が消毒の効果を有する方法によってなされる場合においては、洗濯する前に消毒しなくてもよい。

問4 次のクリーニング業法第3条の2について、( )の中に入る語句の組合せで正しいものを選びなさい。

クリーニング業法

第3条の2 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について（ア）。

2 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、厚生労働省令で定めるところにより、利用者に対し、苦情の申出先を（イ）。

ア

- 1 説明しなければならない
- 2 説明するよう努めなければならない
- 3 説明するよう努めなければならない

イ

- 1 明示しなければならない
- 2 明示しなければならない
- 3 明示するよう努めなければならない

問5 次のクリーニング師の設置に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- 1 クリーニング所（洗たく物の受取及び引渡のみを行うものを除く。）の規模の大小にかかわらず、少なくともクリーニング師を一人置けばよい。
- 2 取次だけを行う店舗においてもクリーニング師を置く必要がある。
- 3 営業者がクリーニング師であり、自己の経営するクリーニング所において自らがクリーニングの業務に従事しているときには、この他にクリーニング師を置く必要はない。

問6 次のクリーニング師の免許に関する記述として、( )に入る語句で正しいものを選びなさい。

クリーニング師の免許は、( )がクリーニング師試験に合格した者に与える。

- 1 都道府県知事
- 2 厚生労働大臣
- 3 生活衛生同業組合

問7 次のクリーニング業法に規定されているクリーニング師の研修及び業務従事者講習に関する記述として、**誤っているもの**を選びなさい。

- 1 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後1年以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受け、その後は3年を超えない期間ごとに当該研修を受けなければならない。
- 2 営業者は、業務に従事するクリーニング師に対し研修を受ける機会を与えなければならないが、業務多忙を理由として研修を受講させないことは認められない。
- 3 営業者は、その業務に従事する者に対し、都道府県知事が指定した当該業務に関する知識の習得及び技能の向上を図るための講習を受けさせなければならないが、クリーニング師については、クリーニング業法に規定する研修と講習を受講する必要がある。

問8 次のクリーニング業法第10条に規定されている立入検査に関する記述として、**誤っているもの**を選びなさい。

- 1 立入検査を行う者は、都道府県知事から委任された職員であり、環境衛生監視員と称されている。
- 2 厚生労働大臣は、環境衛生監視員にクリーニング所や業務用車両に立ち入り、状況を検査させることができる。
- 3 立入検査は犯罪捜査のために認められたものではないが、営業者が立ち入り検査を拒み、妨げ又は忌避すると罰則の対象となる。

問9 次の「クリーニング所における衛生管理要領」に関する記述として、**誤っているもの**を選びなさい。

- 1 洗濯場の床及び腰張りは、コンクリート、タイル等の不浸透性材料を使用し、清掃が容易に行える構造でなければならない。
- 2 水洗いによる洗濯物の処理を行うクリーニング所の排水設備には、阻集器（トラップ）を設けなければならない。
- 3 クリーニング所は、隔壁等により外部と完全に区分されていなければならない。

問10 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律で、生活衛生同業組合の事業として**規定されていない事項**を選びなさい。

- 1 当該業種において過度の競争があることにより、健全な経営または衛生措置を講ずることが阻害されもしくは阻害されるおそれがある場合における料金もしくは販売価格の制限
- 2 組合員に対する衛生施設の維持及び改善向上並びに経営の健全化に関する指導
- 3 組合員が雇い入れている従業員に対する労働条件に関する指導

## 公衆衛生に関する知識

問11 ウィンスローの公衆衛生の定義として、( )の中に入る語句の組合せで正しいものを選びなさい。

公衆衛生とは、共同社会の組織的な(ア)を通じて、疾病を予防し、生命を延長し、肉体的および精神的能率の増進を図る(イ)であり(ウ)である。

- |   | ア  | イ  | ウ  |
|---|----|----|----|
| 1 | 努力 | 科学 | 技術 |
| 2 | 努力 | 科学 | 知識 |
| 3 | 協力 | 知識 | 技術 |

問12 地域保健法第6条で、保健所の業務として規定されている事項を選びなさい。

- 1 労働安全に関する事項
- 2 衛生上の試験および検査に関する事項
- 3 防火管理者の監督および指導に関する事項

問13 次の環境衛生に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 酸素は、血液の白血球と結合して血液とともに体内を循環している。
- 2 一酸化炭素とヘモグロビンが結合する力は酸素の半分程度である。
- 3 二酸化炭素は、通常空気中に0.03~0.05%存在する。

問14 次の廃棄物に関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- 1 産業廃棄物のうち、爆発性、毒性、感染性など、人の健康または生活環境に被害を生じるおそれのある廃棄物は「特別管理産業廃棄物」として区分され、通常の廃棄物より厳しい特別な規制がある。
- 2 事業者は自ら排出した産業廃棄物を自ら処理するか、法が許可する業者に委託して処理することとなっているが、委託処理する場合でも、自らの廃棄物が最終処分されるまでの責任を持たねばならない。
- 3 産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付したすべての排出事業者には、前年(1月から12月)の交付等の状況を報告書にまとめて毎年3月31日までに都道府県知事に提出することが義務付けられている。

問15 次の細菌による感染症として正しいものを選びなさい。

- 1 コレラ
- 2 マラリア
- 3 インフルエンザ

問16 次のクリーニングにおける指定洗濯物の一般的な消毒方法に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 熱湯による消毒では、80℃以上の熱湯に10分間以上浸すことが必要である。
- 2 界面活性剤による消毒では、逆性石ケン液や両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で10分間以上浸すことが必要である。
- 3 酸化エチレンガスによる消毒では、真空にした装置に酸化エチレンガス及び炭酸ガスを1対9に混合したものを注入し、大気圧に戻し50℃以上で10分間以上触れさせるか、又は1 kg/cm<sup>2</sup>まで加圧し50℃以上で1時間以上触れさせることが必要である。

問17 クリーニング業に関する標準営業約款で定められている事項として誤っているものを選びなさい。

- 1 役務の履行に関する事項
- 2 施設又は設備の表示の適正化に関する事項
- 3 損害賠償の実施の確保に関する事項

問18 次の化学物質排出把握管理促進法におけるPRTR制度に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 人の健康や生態系に有害な恐れがある特定の化学物質について、その環境中への排出量及び廃棄物や下水に含まれて移動する量をそれを取り扱う事業者自らが把握して行政庁に報告することにより、化学物質の自主的な管理と使用量の削減を図ることを目的としている。
- 2 クリーニング業での届出が必要な事業者は、常用雇用者数10人以上で、指定された化学物質を年間1トン以上を取扱う事業者である。
- 3 クリーニング業において該当する第1種指定化学物質として、ドライクリーニング工程で使用する溶剤は10物質が指定されている。

問19 次のうち、大気汚染防止法で規定する排出又は飛散を早急に抑制しなければならない有害大気汚染物質（指定物質）の組合せとして、正しいものを選びなさい。

- 1 トルエン、アセトアルデヒド、テトラクロロエチレン
- 2 スチレン、トリメチルアミン、テトラクロロエチレン
- 3 ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン

問20 次の水質汚濁防止法に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 排出水を河川などに排出している施設が規制の対象となっており、終末処理場を完備している公共下水道へ、排出水を排出しているクリーニング施設は下水道法が適用される。
- 2 国の基準では排水量が1日に5トン以上を公共水域に直接排出する事業場を対象としている。
- 3 人の健康に被害を生ずる恐れのあるテトラクロロエチレンの排出基準は1.0mg/lとされている。



## 洗たく物の処理に関する知識

問21 次の繊維の特徴に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 毛にはスケールがあるため、熱、水やもみによる収縮を防止する性質がある。
- 2 ポリエステル織物を水酸化ナトリウム溶液で処理し、繊維表面を溶解させる減量加工をすることにより、織物は柔らかく、しなやかになり、シルクライクなものとなる。
- 3 ポリウレタンは、ゴム糸のように伸び縮みする合繊繊維のため、染色することやドライクリーニングはできない。

問22 次の繊維加工に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 綿は、じんぴ（韌皮）繊維であるために精練漂白、防シワ加工、染色加工をていねいに行わなければならない。
- 2 絹の精練は、化学的に不安定で変質しやすいにかわ質のフィブロインを落とすことを目的としている。
- 3 ナイロン繊維は窒素を含む繊維のため黄変性があり、酸や酸化剤により加水分解することがある。

問23 次の染色に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 羊毛の染色には酸性染料、酸性媒染染料、含金属錯塩染料、反応染料などが主として用いられる。
- 2 天然の水にはカルシウムやマグネシウムの塩類および鉄分が含まれ、染色や精練漂白を助長する。
- 3 染色堅ろう度試験の成績はグレースケールあるいはブルースケールを基準として判定され、級による品質基準が JIS に規定されている。

問24 次のドライ溶剤に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 カウリブタノール値（KB 値）が小さいほど、油性汚れは除去しやすいが、染色や付属品に損傷を与える場合がある。
- 2 石油系溶剤は、洗濯物に対する安全性が高く取扱いが容易、低毒性で揮発しにくい、引火性のため制約がある。
- 3 1995年にオゾン層保護のため CFC-113、1,1,1-トリクロロエタンは、国際的に使用が禁止された。

問25 次のクリーニングにおける二次加工剤に関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 防虫加工剤は、ピレスロイド系の防虫加工剤と有機りん系の防虫加工剤があり、一部の加工剤には、残留濃度の規制がある。
- 2 帯電防止加工剤の成分には、主にアニオン系界面活性剤が使われており、その吸湿性と導電性を利用して、帯電を防止または抑制する。
- 3 ドライクリーニングのサイジング加工では、溶剤に溶解するコーンスターチ、CMC、酢酸ビニルなどが用いられる。

問26 次のドライクリーニングに関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- 1 チャージシステムにおいて、溶剤相対湿度 75%が可溶化と乳化のほぼ分岐点となり、溶剤相対湿度 75%以上が可溶化状態で、この範囲でドライクリーニングをすれば、水が衣料に対して安全である。
- 2 油性汚れの除去は溶剤の役割で、水溶性汚れの除去は洗剤の役割である。
- 3 ドライ洗剤がドライ溶剤中に含まれていると、カーボンが洗濯物に再付着することを防ぐ作用を、ドライ洗剤の保護コロイド作用と呼ぶ。

問27 次のランドリーに関する記述として、正しいものを選びなさい。

- 1 普通程度の綿の汚れ物を洗うときの洗濯物の量は、ワッシャーへ洗濯物を入れ、注水して数回回転し、排水した時の洗濯物の濡れたかさ高が内胴容積の 45%程度であればよいが、毛織物や化繊のときは洗濯物同士の摩擦を少なくするために洗濯物の量を増やして洗うようにする。
- 2 ランドリー用の主たる洗剤は、合成洗剤が中心になっており、合成洗剤（イオン化するもの）の pH は大体 10 程度である。
- 3 酸浴（サワー）の効果は、黄変の防止と殺菌、酸可溶性のシミの除去にある。


問28 次のウエットクリーニングに関する記述として、正しいものを選びなさい。


- 1 ドライクリーニング対象商品であるが、水溶性汚れを除去する必要がある製品、例えば、絹素材で汗ジミのあるブラウスは、ウエットクリーニングの対象品になる。
- 2 ウエットクリーニングを行った洗濯物は、ドライクリーニング品と比較して収縮、しわ、パッカリング等の影響が一般に小さい。
- 3 過去にテトラクロロエチレンでドライクリーニングしたことが明らかである洗濯物もウエットクリーニングを行うことができる。


問29 次の特殊クリーニングに関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- 1 毛皮の保管で注意しなければならないことは、湿度と虫による害である。ミョウバンなめしは吸湿によって柔らかくなる場合があるので、湿気を避ける。
- 2 絹和服のブラシがけは、ドライ洗剤を含まない溶剤に浸して、軽く絞ったものに対して行うことが原則である。
- 3 皮革のクリーニング前処理のサンドブラスト（送風研磨）は、研磨剤をサンドブラストガンの小さな穴から圧縮空気とともに強力に噴射して汚れを削り取る方法で、スエードのみに行われる。

問30 次のJIS L 0001の表示記号のうち、その意味に関する記述として、正しいものを選びなさい。

1  ウェットクリーニング処理（弱い処理）ができる。

2  フッ素系溶剤でのドライクリーニング処理ができる。

3  洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。